

ルールメイカー育成プロジェクト

～ルールを学び、対話的に問題解決する力を育む実証事業～

未来の教室フォーラム

ビジョン・ミッション

未来は、つくれる。

Shape the Future

たくさんのものを失った被災地の子も、
貧しい家庭環境の中で夢を諦めた子も、
日々ただボンヤリと過ごす子も。
どんな環境に生まれ育ってもすべての10代が、
未来をつくりだす意欲と創造性を育める。
NPOカタリバは、そんな未来の当たり前を
目指して2001年から活動する団体です。

Vision

私たちが実現したい社会

Mission

私たちが果たす使命

どんな環境に生まれ育っても、
未来をつくりだす力を育める社会
意欲と創造性をすべての10代へ

1 サードプレイス型事業



放課後や学校外の居場所
として地域のニーズや課
題に合わせた10代のため
の施設を運営する

2 プログラム提供型事業



学校や地域に10代のに火
を灯し意欲と創造性を育
むプログラムを届ける

3 ハンズオン支援型事業

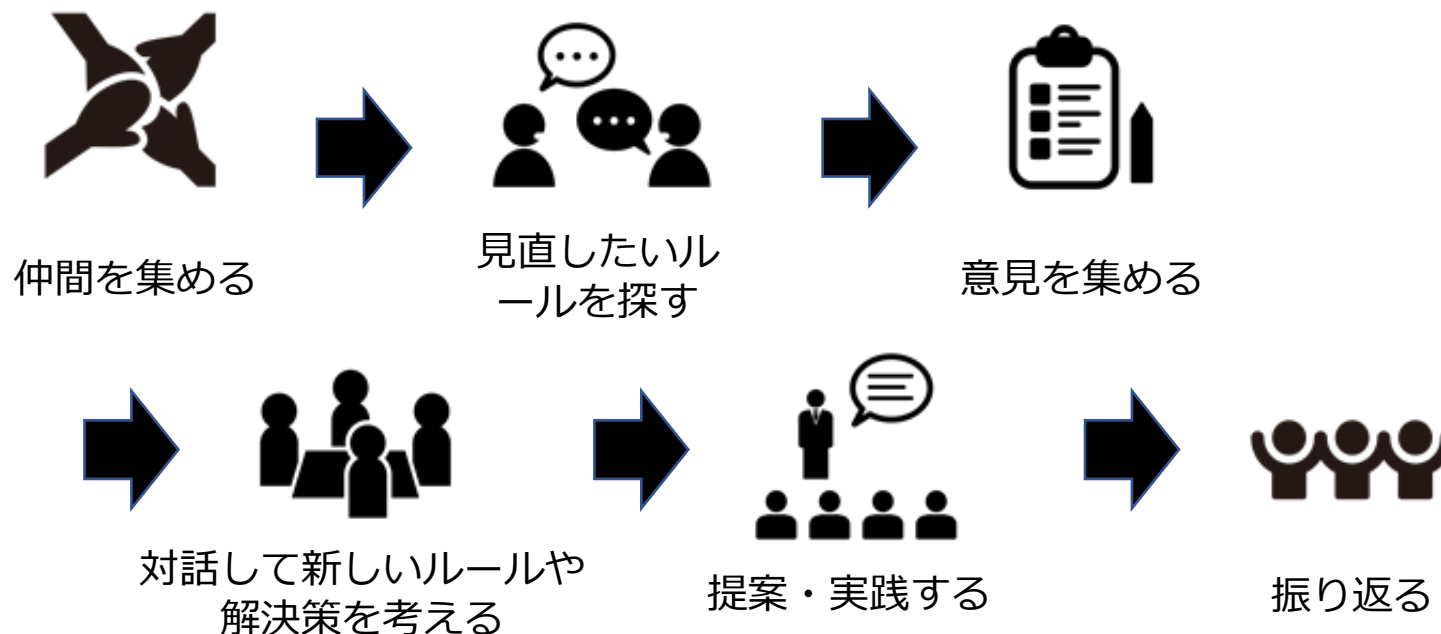


高校・行政の中に入り込
み、探究的な学びのサポ
ートや、地域の教育環境
づくりを実施

Vision

身の回りのルールを疑い、対話を通して納得解を見つける力を育む

校則やルールに対して生徒が主体となり、先生・保護者などの関係者との対話を重ね納得解をつくること（ルールメイキング）を通して、課題発見・合意形成・意思決定をする力（市民性“シティズンシップ”）を育くプロジェクトです。対話的・民主的な合意形成のプロセスを経て、生徒たち自身が当事者として学校・保護者・地域などと協働して校則やルールを変えていくことで、学校・社会へのオーナーシップを育むとともに、生徒の声を大切にする学校風土や生徒・先生・保護者の新しい関係性を育みます。



1

なんで？ どうして？ を安心して対話できる

2

**社会の中で対話する機会とする
(だからこそ社会に対話の場を開く)**

3

日本中のどの学校でも実施できる

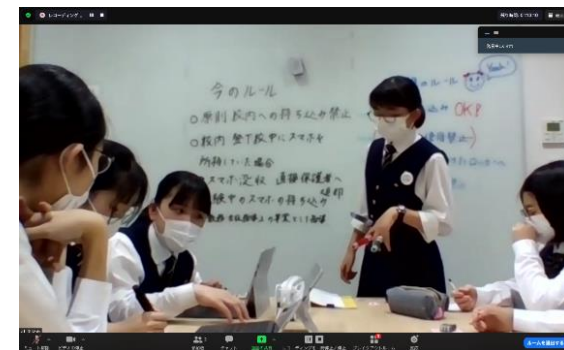
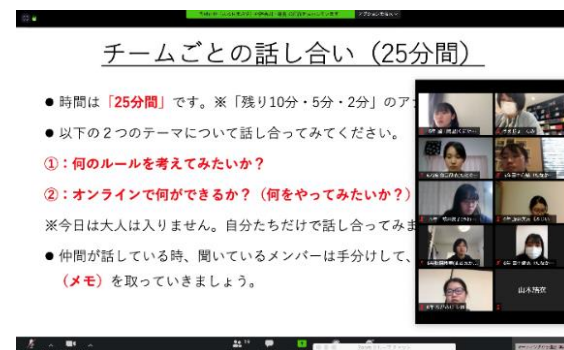


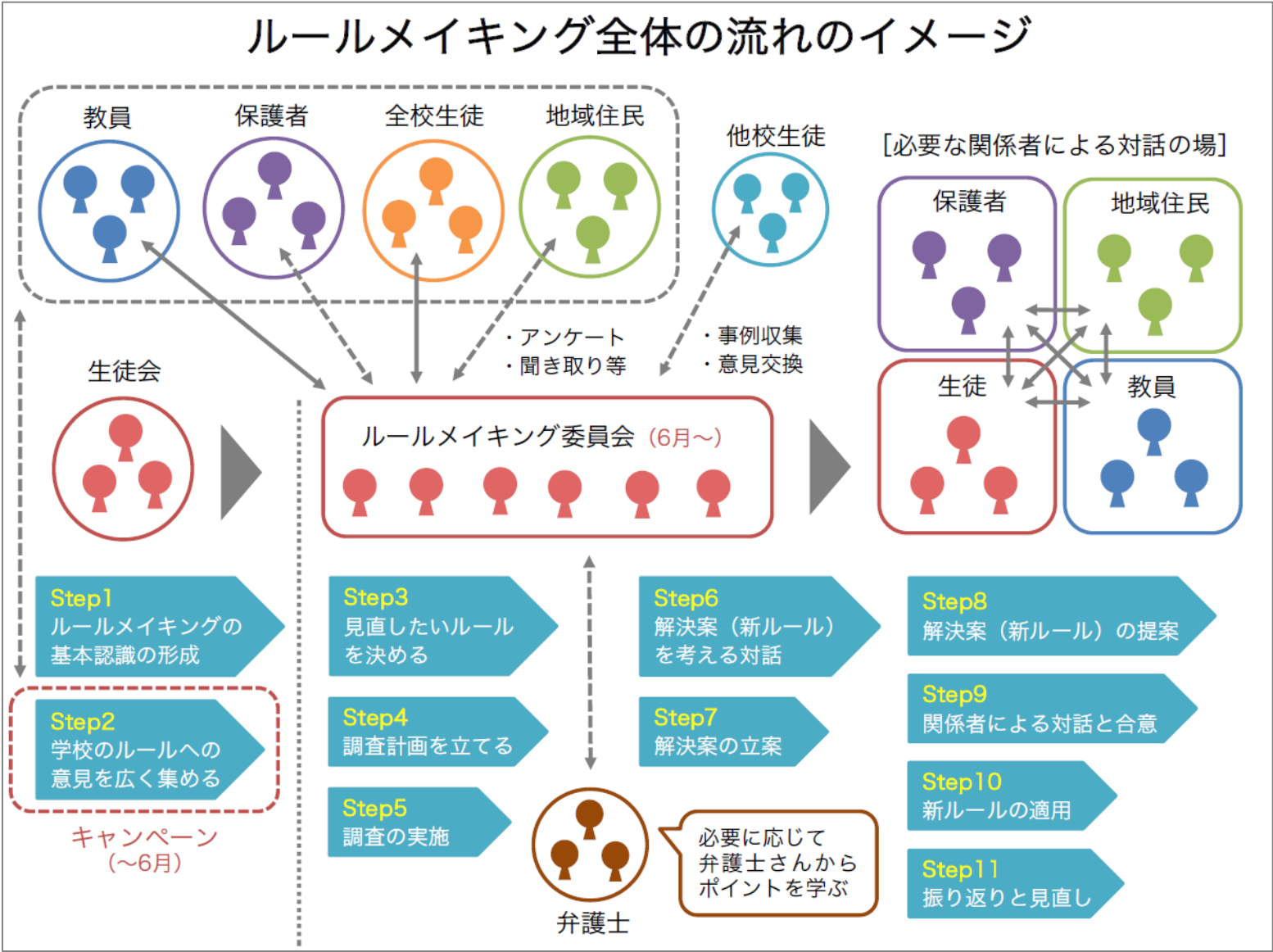
安田女子中学高等学校（広島県） 岩手県立大槌高等学校（岩手県） 新渡戸文化中学・高等学校（東京都）



ルールメイカー育成プロジェクト 取り組み事例

安田女子中学高等学校





実施プロセス

Step3

見直したいルールを決める



ルールメイキングアンケート用紙

ルールメイキングプロジェクトメンバーです。いつも活動にご協力くださりありがとうございます。今回、ルールメイキングの基礎となる「皆さんの思い」を聞くために、アンケートを実施することにしました。アンケート結果をこれらのルールメイキングに役立てていきます。

締め切りは、9月19日（土）までとなっています。皆さんの回答をお待ちしています。

学年をマークしてください

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

■以下のルール、校則についてどのように思われますか。当てはまる番号にマークしてください。
(すべての質問に回答をお願いします)

① 見直したい ② 見直したいと思わない ③ どちらでもない (興味がない・支障がない)

髪型、髪留めについて	① ② ③
小型扇風機について	① ② ③
情報端末機器の持ち込みについて	① ② ③
学校指定のかばんについて	① ② ③
学校指定のマフラーについて	① ② ③
サマーカーディガンについて	① ② ③
自習室の利用について (場所、方など)	① ② ③
放課後の立ち寄りについて	① ② ③
保護者同伴でないと許可されていない場所への出入りについて	① ② ③

■当てはまる番号にマークをお願いします。

① はい ② いいえ

学校の自習室を普段から利用していますか。	① ②
自身の情報端末機器を所持していますか。	① ②

アンケートは以上です。ありがとうございました。

	①見直したい	②見直したくない	③どちらでもない
髪型、髪留めについて	566	104	158
小型扇風機について	605	68	155
情報端末機器の持ち込みについて	678	66	83
学校指定のかばんについて	517	172	139
学校指定のマフラーについて	513	147	168
サマーカーディガンについて	317	195	316
自習室の利用について	284	229	315
放課後の立ち寄りについて	650	90	88
保護者同伴でないと許可されていない場所への出入りについて	600	114	114



緊急性



重要性



実施プロセス

Step4 調査計画を立てる



Step5 調査の実施

保護者

ルールメイキングアンケート（中学生の保護者の方向け）

こんにちは。ルールメイキングプロジェクトです。私たちは現在、中高合同で『生徒みんなが幸せになる』ことをテーマに現在、『校内への情報端末機器の持ち込み』、『保護者同伴でない許可されていない場所について』、『放課後の立ち寄り』についての校則・ルールの見直しに取り組んでいます。このページは保護者向けのアンケートとなっております。今回、保護者の皆さんにアンケートを実施する運びとなりました。回収させていただいたアンケートは今後のルールメイキング活動に大きく影響するため、大切な一つの意見として慎重に分析していく予定です。また、このアンケートは匿名で数値換算し11月中旬に学校に提出する資料の一部として公表いたします。アンケートへの回答は原則1人1回をお願いします。

※姉妹で安田女子中学高等学校に在籍されているご家庭は人数分の回答をお願いします。

※必須

その2：校内への情報端末機器の持ち込みについて

はじめに

1. 生徒が学校に情報端末を持ち込むことについて賛成ですか。

398 件の回答

回答	割合
はい	67.6%
いいえ	32.4%

生徒

放課後の立ち寄りについてのアンケート

こんにちは。ルールメイキングプロジェクトチームです。いつも活動にご協力いただきありがとうございます。今回、ルールメイキングの基盤である『皆さんの思い』を聞くために、保護紙・マークシート・Googleフォームを使ってアンケートを実施することにしました。

私たち放課後の立ち寄りについてのグループの最終的な目標は二つです。

1. 今の安田女子中学高等学校の放課後に関するルールを明白にし、ルールを再認識する。
2. 今のルールを改善し、学校生活をより充実したものとする。

この二つの目的をより良い形で達成する為に生徒の皆さんの意見を聞き取りたいと考えています。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

締め切り日は、11月8日（日）です。決山の回答をお待ちしています。

※アンケートへの回答は紙面又はPDFで一人一回お願いします。

現状のルール

- ・自動販売機での飲み物の購入
- ・中学生は特別な用途のない携帯電話の持ち込みは禁止
- ・高校生は許可がなくても携帯電話の持ち込みは禁止
- ・中高生に飲食店、カラオケ

学年を選択して下さい

☐ 1年
☐ 2年
☐ 3年

Step6 解決案（新ルール）を考える対話

教員

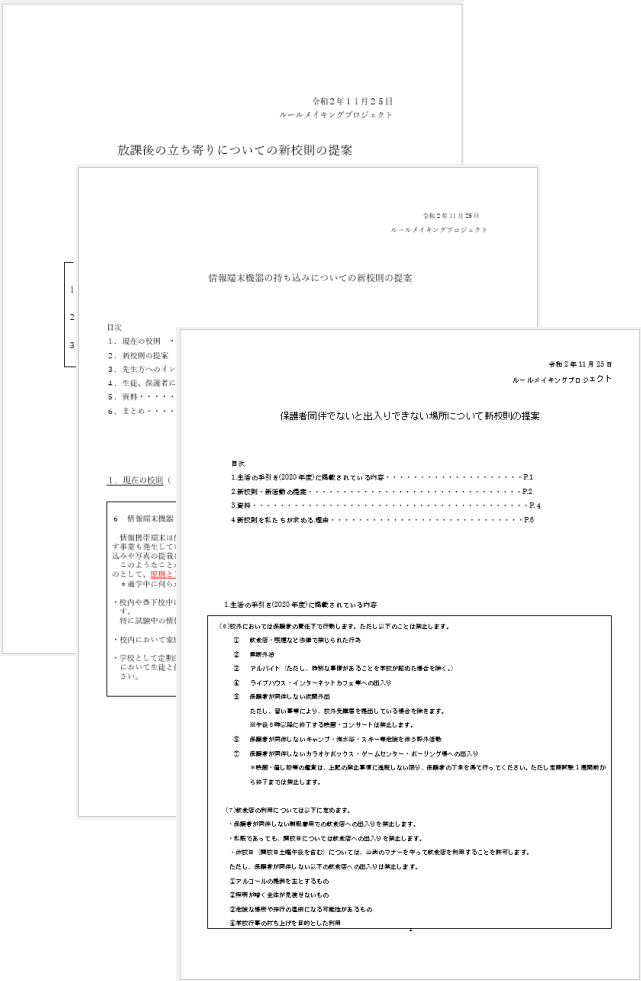


県警



実施プロセス

Step7 解決案の立案



Step8 解決案（新ルール）の提案



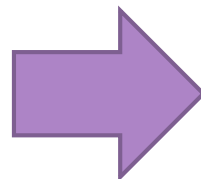
Step9 関係者による対話と合意



Step10 新ルールの適用

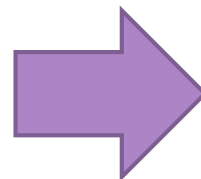


情報端末機器の持ち込み



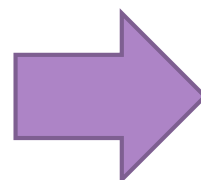
連絡手段や学習利用に限り持ち込み可

放課後の立ち寄り



保護者の了承を得ていれば可

カラオケ、ゲームセンター等
への出入り



制服着用時以外は保護者同伴なしで可

成果

1. 校則が、変わる
2. 生徒の意識が、変わる
3. 学校が、変わる



私たちから見た 変化や成長

生徒の手で校則が変わるという現実味がでた。

周りの友達からの『やってみたい』

周りの先生からの『面白いね』

プロジェクトメンバーからの『続けたい』の声

生徒がつくっていく学校へ

R2年1月 生徒より	R2年4月 生徒会	R2年5月 生徒総会 ①	R2年5月 第1回 ② 校則検討委員会	R2年5-6月 ③ 授業	R2年6月 第2回 校則検討委員会
生徒会複数名より 教員に対し、校則 改定に向けた要望	生徒宣言策定ワー クショップの開催 (全2回)	①校則検討委員会 の設置 ②生徒宣言の採択	テーマ 「夏服に関する校 則改定について」	公共を考える授業 (政治経済) 「自由 vs 規制」 (教育課程との連携)	テーマ 「頭髪に関する校 則改定について」

1 生徒宣言の採択

生徒自らなりたい生徒像、ありたい学校像を設定し、校則を考える上での指針を示しました。

＜大槌高校 生徒宣言 前文＞

私たち大槌高校生徒は震災後、この大槌高校で避難所運営を始め、復興研究会という組織を立ち上げ、大槌に貢献するよう努力しました。そこでは「自分で考え、自分で判断をすること」、「主体的に活動すること」の大切さを学びました。私たちはこのような精神を引き継ぎ、学校生活に生かしていきます。

私たちがすべきことは、生徒全員でなりたい生徒像やありたい学校の姿を問い続け、より良い学校生活を送ることができる理想の状態を共有することです。その理想の下で、どのように生活を送るべきかを一人一人が考え判断する力を高めていくことが重要です。私たちが学校生活を送る上で拠って立つべき理想をここに宣言します。

2 校則検討委員会

校則検討委員会は、生徒と教職員がテーマとして設定した校則を題材に、あるべき校則について話し合う場です。議論を通して自分の立場だけではない様々な立場の意見に気付かされます。

(例：女子生徒の夏服のベストはなくすべきか？
制服は本当に必要なのか？
制服を着ることにはどんな意義があるのか？)



3 「公共」を考える授業 (地歴公民科教諭 菊池先生)

政治経済の授業では、「自由」と「規制」を巡る議論を取り上げ、校則の意義について考えました。

コロナ禍における移動制限は国民の自由を奪うのかなど実際の社会で起こる難問を取り上げ生徒同士での議論を行いました。



1 R2年10月-
ランチミーティング

中高の生徒会有志メンバーがランチに集まり、校則見直しについて議論

2 R2年10月
授業

中学2年生を対象に校則をテーマにした授業を実施

3 R2年12月
ワークショップ

有志メンバーを中心に「見直したい校則・ルールを見える化する」WSを実施

4 R2年1月-
校則改定提案

職員会議にて、校則改定案を提案

1 ランチミーティング

中学・高校の生徒会有志メンバーがランチ（お昼休憩）に集まり、生徒会のあり方や校則・ルールの見直しについて議論を進めました。事務局からは、大槌高等学校や安田女子中学高等学校でのルールメイキングの取り組み（プロセス）について、生徒や教職員に共有しました。事例から「自分たちはどう進めるか？」を考える機会になりました。


2 「校則」を考える授業

中学2生の授業時間を使い、「校則」をテーマに授業を実施しました。下記の4つの問いについて調べ、対話をしました。

- 校則ってなんのためにあるのだろう？
- 全国にはどんな校則があるのだろう？
- 「その校則、学校に関わる全ての人が説明できますか？」（という高校生が書いた記事）を読んで考えたこと。
- どんな校則を作っていきたいですか？


3 見直したいルールの見える化ワークショップ

見直したい・つくりたいルールを「見える化」する校内ワークショップを実施しました。校則・ルールについて考えたい有志の生徒が集まり、現在の校則・ルールを読み直しながら、見直したい・つくりたいルールについて、対話しました。


4 校則改定案の提案

生徒会有志メンバーが作成した校則改定案を職員会議にてプレゼンしました。防寒着の自由化が実現しました。

- ① なんで？ どうして？ を安心して対話できる
- ② 社会の中で対話する機会とする（だからこそ社会に対話の場を開く）
- ③ 日本中のどの学校でも実施できる

▼ 対話型ルールメイキングが日本中の学校で行われている未来にむけて、
次年度以降は以下がポイントとなります。

- 1) 一部の声ではなく、当事者（生徒・教員・保護者）全員が参加できるプロセスや仕組みとは？
- 2) 外部人材はどのような人材か、どのような力や役割が求められるか？
- 3) 学校の環境条件や学校風土はどのように影響しているのか？